

霜・結氷の観測

霜・結氷について、気象庁が行っていた観測方法は以下のとおりである。

1 霜・結氷

1.1 大気現象（霜、結氷）の定義

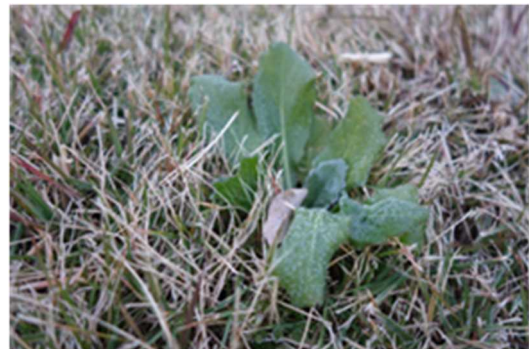
露場^{※1}で現象の観測を行う。

しかし、これらの現象は季節の感覚を表す指標に使われる場合が多く、観測場所付近の現象を観測してもよい。遠隔露場^{※2}の場合は、観測室のある庁舎付近の現象を観測してもよい。

なお、観測記録については午前または午後にわけて記録する。

(1) 霜

大気中の水蒸気が昇華して、地面又は地物に付着した氷の結晶。一般にうろこ状、針状、羽状又は扇子状をしている。



観測露場や庁舎付近の植物で観測。

植物の毛茸(もうじ)との見分けに注意すること。

(2) 結氷

屋外にある水が凍る現象。



露場に設置してある結氷皿等に水を張り観測。

※1 観測装置が周囲の人工物の影響を受けないように配慮し、良好な環境で気象観測を実施するための屋外の場所

※2 観測室から距離的に離れた場所にある露場